４．空家等対策計画の改定

豊島区 TOSHIMA CITY

１０年ぶりに「空家等実態調査」を実施！！

現地調査：7月15日～9月30日 ／ アンケート調査：10月10日～10月30日



対象建物　戸建て住宅、長屋、
　　小規模な共同住宅（２階以下かつ１４戸以下）
対象棟数　２８，１２３棟

調査フロー

① 空き家判定



外観目視により空き家かどうか判定（長屋と小規模な共同住宅は１棟全て空室となっている場合に空き家と判定）

② 管理不全度調査



空き家と思われる建物については、管理状況、建物の老朽度等を調査し、4段階でランク付け

③ アンケート調査



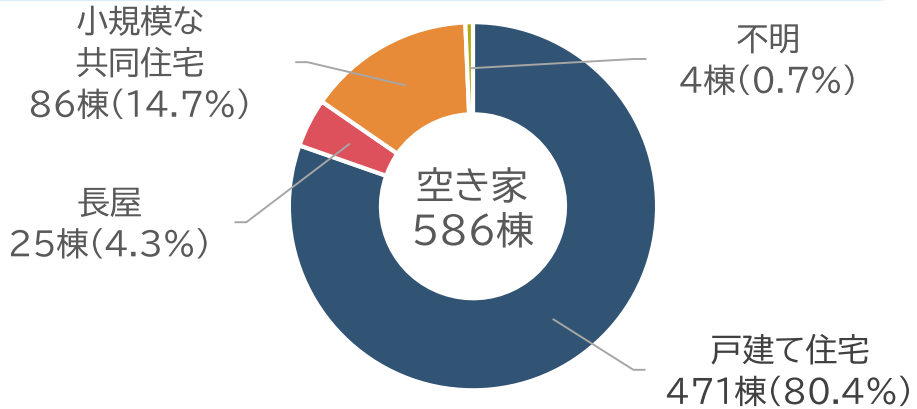
所有者に対し、建物の利用状況や管理状況、利活用に関する意向、お困りごとを伺うアンケートを実施

４．空家等対策計画の改定

豊島区 TOSHIMA CITY

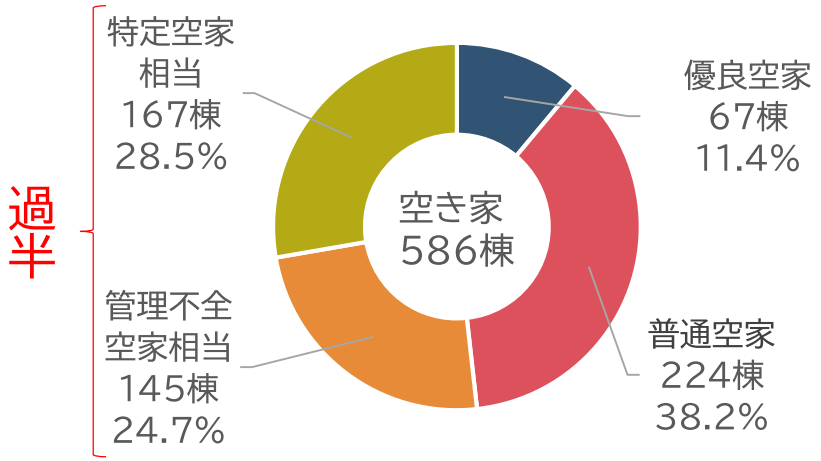
調査結果

空き家の内訳

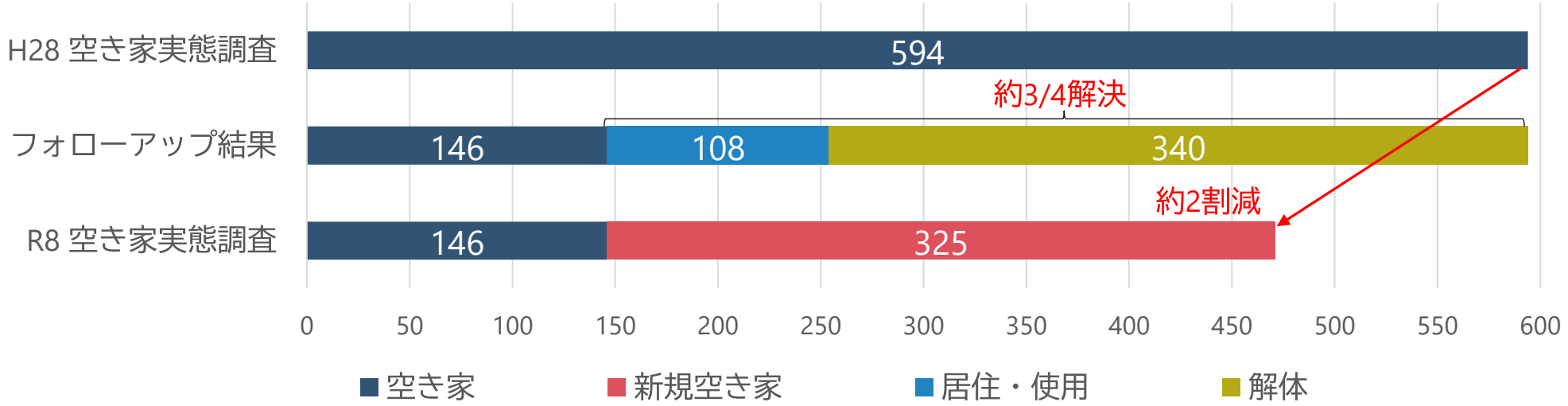


※令和8年9月30日時点での速報値

管理不全度別の内訳



戸建て住宅の空き家数の推移



４．空家等対策計画の改定

豊島区 TOSHIMA CITY

都市のリスク低減とまちの魅力アップを両立
空家等対策計画を令和９年３月末に改定

空家等対策計画 改定コンセプト（案）

① 発生させない	② まちに還す	③ 放置させない	④ 危険を残さない
発生予防	流通・活用	適切な管理	除却促進

地域特性に応じた施策展開

地域の実態に応じて発生予防・流通活用を重点化し、管理不全空家・特定空家には区内全域で対応

一体的に切れ目なく進める総合的な空き家対策へ